

新年のご挨拶



協同組合横浜
マーチャンダイジング
センター理事長
鈴木 信晴

新年あけましておめでとうございます。

謹賀新年



南西側から見た横浜マーチャンダイジングセンター



横浜マーチャン
ダイジングセンター
社長兼会長
佐藤 達夫

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

最近読んで感銘を受けた本に、八津矢重著の「蔦屋」があります。主人公の蔦屋重三郎（蔦重）は、江戸時代に活躍した、主に狂歌、

組合員の皆さまにおかれましてはすこやかに輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年は年末に実施された総選挙が示すように、アベノミクスの恩恵を大いに味わった輸出主導の大企業組と消費税等の増税や円安による諸物価高騰の煽りを受け益々

厳しい状況下に取り残されてしまった中小企業組と両極化された年でした。特に10月末に日銀が踏み切った「追加金融緩和」により、円安が加速し、株価も急上昇する一方、日本国債は格下げされ様々な「不確実性」が浮き彫りになりました。このような状況下で当組合は様々な事業を推し進めてまいりました。まず、まちづくりに関して

草双紙、浮世絵などを扱う「地本問屋」で、出版物を企画し、作家版画の彫師、刷り師、紙漉き職人などを束ねて世に送り出す、今でいう敏腕プロデューサーでした。蔦重は吉原の出身で、「吉原細見」(遊郭や遊女の人気ランキング)というベストセラーを発行していました。それが飽き足らず、「江戸中を吉原にする」という大きな夢をもってチャレンジしていきます。吉原というと、「悪所」

は「昨年採択された「地区計画」の継続的運用により進出企業による槌音の絶えないなかで順調に推移する一年でした。又、まちづくりにおける最重要課題である「ビジョン策定」に関しては、全国中央会からの補助金認定を受け産学官連携による特別委員会を設置し、昨年6月より、説明会の開催、企業ヒアリング、更に先行モデルとなる他県の流通団地への視察等を通じて、取り組みを進めてまいりました。今年の10月までには私達の創意を結果としてまとめる計画となっております。ご承知のとおりこの事業は皆さまの経営における「中期計画」のベースとなる事を目的としていますので、今年度もなおいっそう積極的な参画をお願いいたします。

アウトレット部会が企画運営するMDCアウトレットセールは多くのイメージが強いですが、武士も町人も対等に交流できる文化芸術の創造発信拠点だった面が丁寧に描かれています。蔦重は、大田南畝、恋川春町、山東京伝などの人気作家と協業し、また、同じ吉原出身の絵師「勇助」を「歌麿」に育てあげ、更に無名の絵師を見出して「写楽」として売り出します。寛政の改革による厳しい言論弾圧により、武士の恋川春町は自死

くの市民からの支持を支えに、当組合の通年事業として定着しました。今年は更なるグレードアップを目指し、新商品並びに新業態開発にも重点を移して行きたいと願っております。

さて、当組合はいよいよ2016年に創立40周年を迎えます。日本の経済は、火山列島特有の地殻変動が進行するがごとく大きな変革期の渦中にあります。経済学者などによる予測ではアベノミクスが進行する中、この先2年間は内外共に多事多端な変革期となり、その壁を乗り越えることで、晴れて経済確立期を迎えることができるとされています。当組合も激動する流通業界の中で自ら道を切り開いて行かなければなりません。今年度が組合員の皆さまにとって辛い年となる事を願い新年の挨拶に代えさせて頂きます。

に追い込まれ、蔦重も財産の半分を没収されてしまいますが、それでも不屈の精神で、民衆に支持される出版活動を続けました。

Tポイントで有名な「T S U T A Y A」のHPには、「蔦屋重三郎にちなむ」と記載されています。大きな夢のある社名なのでですね。私も、人を育て、チャレンジ精神と程良い反骨精神を持って、さやかながら夢の実現に向けて、取り組んで参りたいと思います。

2015年を占う!

氏名	企業名	日経平均株価 (3月31日終値)	対ドル円価 (3月末時点)	業界 予想	理由	プロ野球 日本一	サッカー J1優勝
中島茂代	(株)なかじま	18,248円	118円	→		巨人	横浜Fマリノス
鈴木信晴	(株)鈴音	18,000円	120円	↑	アベノミクス効果	横浜DeNA	浦和レッズ
河野潤一	(株)スズケン	18,500円	124円			巨人	ガンバ大阪
多々良俊樹	長峰製茶(株)	18,030円	111円	→		オリックス	浦和レッズ
上野達夫	ジェーケイサッシ(株)	17,850円	120円	↓		巨人	浦和レッズ
高橋至	(株)松崎	20,000円	128円	→	決定的な政策も打てず、円安、株高も特定企業のみで業界全体では±0	巨人	川崎フロンターレ
仲松秀樹	(株)大松運輸	18,500円	125円	↑	需要が多い	広島	ガンバ大阪
桐岡俊樹	(株)ビプロス	16,800円	109円	→		オリックス	ガンバ大阪
田崎久年	(株)バイオニア企画	18,500円	120円	↑		オリックス	浦和レッズ
米谷靖夫	(株)カレンズ	16,500円	118円	→	アベノミクスの失敗	巨人	浦和レッズ
宮崎文王	(株)大倉物産	17,000円	114円	→		ソフトバンク	浦和レッズ
森田義哉	(株)電商会	17,350円	113円	→	競争が激しいので	ソフトバンク	ガンバ大阪

ビジョン策定委員会 高崎卸商社街協同組合を視察研修

MD Cビジョン策定委員会では、今後の組合・組合員企業の将来を見据えて、「今後の団地の運営や、組合が組合員企業のためにどのような事業を展開することで、組合のメリットを感じ取ってもらえるか?」という基本認識の下、そのヒントとなるべく先進事例の視察研修を実施しております。

11月20日は、昨年で設立50年となった、国内で初めて卸団地として高度化事業を実施した高崎卸商社街協同組合を、当組合ビジョン策定委員会の鴨志田晃委員長(横浜市大教授)一行10名で視察しました。

同組合は、組合員企業数157社(賛助会員含む)、団地面積36・6haと、MD C地区の約2・6倍の広さです。平成16年には団地の一角にJ R「高崎間屋町駅」ができたことがインパクトとなって団地および周辺が大きく変貌しました。小売業、飲食店、マンション、大学・高校、銀行、病院などが次々に駅を囲むように林立し、街としての機能を求められました。卸と小売りと住民との協調が求め

られたなかで、高崎卸商社街の組合は、国内でも初めての「提案型地区計画」を提言し、行政を動かして「自分たちのまちづくり」に成功した卸団地といえます。「提案型」とは、小売業への開放を始めとする組合員資格の規制緩和と共に「高崎の副都心」としての基盤整備を行う都市計画としての性格を持ち合わせたものです。こうした町づくりの新しいルールのもとで、「人が集い、人が憩う町」のコンセプトを打ち出し、大々的なバザールの開催に、8千人の消費者が来場し集客の土台を作りあげました。その後着実に拡大を続け、今日では3万5千人集客の「上州どっと楽市」(年2回開催)に発展しています。同組合のひとづくり(人材確保と人材教育)についても先進的な取り組みを行っています。求人共回でマイナビ(ネットの就職情報サイト)を活用し、企業合同説明会を開催し採用活動を行っています。ここで採用された新人は、県の認定を受けて組合が運営している「高崎卸商社街職業訓練会」で新入社員向けの研修を常時開催しています。



「ビッグキューブ」外観。特徴的なキューブデザインにより、ランドマーク機能を果たす。屋上には太陽光発電ユニット(ソーラーパネル)を設置

この訓練会では、中堅社員、管理者の講座をはじめ、6つのコースからなる営業技法講座、売上債権管理講座などの他、ジョブカード制度対応教育訓練により、営業・販売の基礎講座と充実しています。しかも、各コースの評価体制がこの教育システムの継続性を支えている大事なポイントであると思われれます。毎回受講者を対象にアンケートを行い、それをフィードバックさせ、絶えず見直す仕組みです。それによって、企業ニーズに合った独自のカリキュラムとなっています。こうした地道な積み重ねが、団地が持つポテンシャルを開花させる原動力になっていることを大いに感じさせるもので、当組合のビジョン策定の「ひとづくり」に考え方を反映できれば、視察したか

シリーズ MDCの生い立ち

第6回最終

残しておきたいこと

荒波を乗り越えて

横浜マーチャンダイジングセンターはこうして誕生しましたが、その後の発展は決して順調そのものとはいえません。好不況の波は常に団地の運営に影響を及ぼしました。「卸の時代は終わつた」とか、「卸不要論」などが声高に叫ばれたこともありましたが、倒産を余儀なくされた企業もあれば、団地を去っていった組合員もありました。

しかし、横浜マーチャンダイジングセンターは荒波を乗り越えて今も生き残っています。卸は決して不要な産業ではなかったのです。したたかに生き延びています。なぜでしょうか。それはこの団地がどうして誕生したかを見ればわかります。どうしてこの地に必要だったかを見れば推し量れます。設立の意義と哲学を考えてみてください。理念に戻って考えてください。

どの機能を取り戻すか

卸には大分類すると4つの機能があるといわれています。①情報



小林光政 元副理事長に聞く

をシェアリングするという手立ても考えられます。MDC設立の理念に戻って考えれば、組合だからできることがまだまだあるはず。設立の意義と哲学を後世に伝えていきたいと思っています。

機能、②金融機能、③保管機能、④配送機能の4つです。当初はこれらの機能を集約することで、より大きな力を発揮できると考えられていましたが、インターネットの普及や大手企業や専門業者の進出で、どの機能も一律に弱体化してきました。

企業の利益は、これらの機能の価値で決まります。どの機能を取り戻すか、儲かる機能に転化するのか、その選択を迫られています。

MDCだからできること

たとえば保管機能と配送機能。「アスクル」は明日配送される便利なものでしたが、今や「キョウクル(即日配送)」も当たり前になっています。これからは「モウキテル」の時代になります。商品の流れは需給サイクルによりますが、これはコンピュータで管理できる時代です。問屋がもっているノウハウで顧客の在庫管理をし、発注される前に品薄になった商品を共同配送すれば、合理化できます。

また、組合が各組合員の季節ごとの繁忙を把握して、人材や車両



9月定例理事会

- 開催日時 9月10日(水)13時半
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席理事 10名(欠席3名)
- 提出議案
 - 第一号議案 近代ホーム(株)の株サインワールドジャパへの持分譲渡承認の件
 - 第二号議案 卸団地機能向上支援事業報告
 - 第三号議案 転貸融資実行報告
 - 第四号議案 その他報告事項
- (1)組合会館1階事務所賃貸借契約の件
- (2)街路灯設置工事について
- (3)MDC防災訓練の実施

10月定例理事会

- 開催日時 10月8日(水)12時
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席理事 10名(欠席3名)
- 提出議案
 - 第一号議案 卸団地機能向上支援事業報告
 - 第二号議案 転貸融資実行報告
 - 第三号議案 第2四半期財務状況報告
 - 第四号議案 その他報告事項
- (1)卸団地厚生年金基金報告
- (2)商団連事務局長報告
- (3)株プラス増築申請の件
- (4)株バイオニア企画の建築計画について

11月定例理事会

- 開催日時 11月12日(水)12時
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席理事 9名(欠席4名)
- 提出議案
 - 第一号議案 卸団地機能向上支援事業報告
 - 第二号議案 金沢区健康ウォーキング&MDCアウトレットセールの件
 - 第三号議案 転貸融資実行報告
 - 第四号議案 (株)バイオニア企画の建築計画承認の件
 - 第五号議案 平成27年賀詞交歓会開催の件

団地活性化委員会

- 開催日時 11月27日(水)15時
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席者 7名
- 検討内容
 - (1)MDCアウトレットセールの今後について
 - (2)研修事業の検討について
- (マイスターコンサルタンツ 代表小池浩二氏のプレゼン)

MDCビジョン策定委員会

- 開催日時 11月30日(水)15時
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 検討内容
 - (1)江釣子SC及び仙台卸商センターの視察研修のとりまとめ
 - (2)地元学生の就職に関する意識状況の研究(ゲストスピーカー.. 横浜市大・吉永崇史准教授)

MDCアウトレット部会

- ①開催日時 10月27日(月)15時
- ②開催日時 11月25日(火)15時

第20回神奈川商業従事者

派遣団報告

スペイン と南仏記



アルルの民族衣装を着た少女達と筆者(左)

(株)鈴音 社長室・次長

鈴木 令二

今回の派遣団は、11月9日〜16日に渡欧し、スペインは「バルセロナ」、フランスは「モンペリエ」「アルル」「マルセイユ」と、2か国4都市を訪問して参りました。派遣団員は、商業従事者9名(9社)と、神奈川県産産業・観光部商業流通課から団長1名、(株)横浜銀行より副団長・サポートスタッフの2名で構成されておりました。

半年ほど前から書類・面接で選考が始まり、その後の事前準備で、各団員が提出した視察目的に合わせて、視察先が決まります。当社は、主力商品となっている「チョコレート」をメイン視察対象に考えており、その結果「FARGAS」という、1826年の創業から約200年という長きに亘って、バルセロナの「旧市街」で営業を続ける、



「FARGAS」の店頭にて、団員の仲間と

老舗のチョコレート店を選定して頂けました。

「FARGAS」は、創業から4代に亘って家族経営を続けており、種類が豊富なボンボンシヨクラも、今でも昔ながらの製法にこだわり、石臼でカカオを引いて、ひとつひとつ丁寧に作られています。かつてこの旧市街の辺りは、革製品のお店が多く立ち並ぶ地区でしたが、最近は大企業が高い家賃を払って出店を始め、現在ではそういった店舗が増え、バルセロナの旧市街では、「FARGAS」のような老舗が消滅し、大企業の店舗に改装されている実態があるようです。「街づくり」の観点から、感慨深いものがありました。

■バルセロナ(スペイン)

スペインに着いて、最初に驚いたのは、多くの建物のペランダからカタルーニャの国旗が掲げられていたことです。そして、心配していた程には過激な独立運動が無かったことに安心しました。投票の結果や、州首相の今後については多様な意見があると思いますが、スペイン人としてはなく、カタルーニャ人として、地元愛が強い



見事に商業施設へと変貌した円形競技場



バルで出会ったタパス(小皿料理)たち



モンペリエ旧市街と星付きレストランの付き出し

ことに、大変な感銘を受けました。ユーロ導入後に急激に物価が上昇したスペインは、個人の消費も変わった、との話でした。その後、ユーロ危機を発端とするバブル崩壊を経て、私のメイン視察先でも、伝統のシエスタを取らずに一生懸命に働かれています。刻一刻と変化し続ける、スペイン・バルセロナの経済状況を肌で感じる事が出来ました。

また、食文化についても変革期を迎えており、世界一予約の取れないレストランと言われた elBull を始め、スペインにも、星付きレストランが増えたことが発端なのでしょうか、TV番組では高額賞金や、豪華レストランの経営権を賞にしたオーディション形式の料理番組が流行しているそうです。

■モンペリエ(フランス)

まず、昼間でも市街地を歩き回っている人の多さに驚きました。彼らは一体、何をしているのでしょうか? 夏場であれば観光客が多いのでしょうか、この時期は観光シーズンではないので、地元の人達なのでしょう。このような街は日本でもあまり見たことがありません。

ん。若者達と定年後のムッシュ・マダム達が同じ時間と都市を共有しているのです。モンペリエは「住みやすい都市」として有名ですが、人口は毎年1万人程度、増加し続けている、とのこと。商工会議所で伺った話では、大学でも学費を払うことは殆ど無く、学生は労働者でもある、ということでした。消費税率は高いと言っていました。が、とにかく活気がありました。

他団員の視察先であった、1つ星のレストラン「LA RESERVE RINBAUD」では、アミューズに日本食の「揚げ物」が添えられて出てきました。これには驚きましたが、これこそがアミューズ(楽しませる皿)であり、日本食が世界中でブームになっていることを確信しました。しかし、シェフの話によると、世界的にフュージョン料理が流行していますが、結局は地域の食材を使う伝統料理が大切である、と原点回帰した意見を述べていました。これには私も同感でした。

近年ではグローバル化が進み、先進国であれば、世界中の料理が食せる時代になりましたが、それぞれの良いものを取り入れて、自分達の食文化をより高いレベルの

ものに引き上げる、こういった人達によって、食文化が守られているのだ、と改めて実感しました。

■おわりに

スペインでは、バルセロナのチョコレート博物館のすぐ裏手にはパティシエの専門学校がありました。たし、elBulleの総料理長であったフェラン・アドリアが料理に科学を持ち込んで表現した人物として評価されていたことも知り、フランスでは、学生都市と言われている「モンペリエ」の人口が毎年増加している実態を目の当たりにして、欧州では「学問」が「仕事」に直接的に繋がっていることを感じました。仕事から学問が生まれ、学問から仕事が生まれることを、この派遣団を通じて認識出来ました。この考えは持ち込みたいものです。同行した他の派遣団員の中には、職人もおりましたし、食材に精通している方も多く、飛び交う意見に多様性があり、毎回の食事も、非常に有意義でした。その分、飲食の回数は多かったですし、体重も増えましたが、経済・食材・調理法・文化・流行・街作り・商業施設の在り方等々、多分野に亘って、得られたものは多かったです。最後に推薦してくれた協同組合横浜マーチャングデザインセンターを始め、派遣に携わった皆様様に厚く御礼を申し上げます。

「お口の健康
チェックセミナー」で
健康長寿を推進

MDCでは、横浜市が提唱する健康長寿運動に呼応して、金沢区福祉健康センターが取り組む「お口の健康チェックセミナー」を12月3日組合会館で開催しました。

日程的に折り合いがつかず年末になったことで、急な欠席などで参加者は12名でした。

セミナーは歯科医師のほか保健師、歯科衛生士4人に、参加者に対し講義並びに実習指導を行っていただきました。

まず、金沢区の倉持福祉健康課長から健康長寿推進についてのあいさつの後、金沢区歯科医師会の

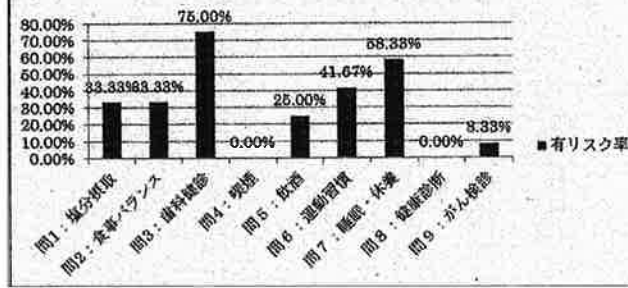
柳下歯科クリニック院長の柳下寿彦先生から「なぜ歯周病になりやすいのか口のしくみ上菌が入りやすい弱点と、歯を磨くことで歯を守る大事なポイントがある」ことを示していただいたうえで、歯科衛生士からそれぞれ個別に磨きすぎで出血していないか、のチェックや歯磨きの仕方の実習、さらには希望者には顕微鏡に歯垢を取り出し、実際に菌が動いている様をみてもらったことまで実施しました。

時間が十分取れなかったこともありましたが、参加者からは歯磨きの仕方や歯周病菌のこわさが良く理解できたとの感想が寄せられ、健康増進に一役買ったようでした。

なお、参考までに当日受講者の生活習慣アンケート結果をみますと、一位が歯科検診リスク(75%)、二位が睡眠・休養リスク(58%)、三位が運動習慣リスク(42%)と

それぞれリスクを抱えたなかで、健康診断は受けても歯科検診を定期的に受けていない人がいかに多いかということを実に物語っている結果となりました。

生活習慣リスクアンケート結果 (n=12)



ティーと物真似芸人さんによる歌謡ショーを楽しみました。

去年は松田聖子さんの物真似の「まねだ聖子さん」でしたが、今年には本格復帰が待たれる中森明菜さんの物真似の「中森あきないさん」の登場となりました。

芸人さんといつて侮ることはできません。歌唱力は超一流です。容姿としたりとした歌声は本家本元と見紛うばかりです。芸人さんが舞台を降りて客席を回る際には

たくさんのおひねり」を手渡していた社長さんの姿も。食事と4分に及ぶ物真似歌謡ショーを十分に堪能しました。

今回は看板を新調し「第2回」と銘打ちました。という事は第3回以降もありますよね、この問いかけも多々いただいています。

従業員と管理者、企業間の隔て無く楽しめるイベントとして恒例になると素晴らしいと思っています。

金沢区役所と連携
アウトレット&
ウォーキング

11月のMDCアウトレットセーリングは金沢区役所主催・京浜急行、金沢観光協会共催による「健康ウォーキング」とのコラボレーションで、22日に開催しました。

金沢区と組合の連携は初めての試みですが、区では横浜市が進める健康長寿の一環として、市民参加を得、健康増進を図るため健康ウォーキングを開催することになったものです。

これを盛り上げるためにウォーキングのゴール地点を組合会館隣接の幸浦二丁目公園に指定し、ウォーキングが終わった参加者はそのままMDCアウトレットで買



ウォーキングゴール地点

い物が楽しめるという企画です。当日は快晴に恵まれ、金沢文庫駅に集まった参加者は1047人に達し、当初の見込み通りでした。金沢文庫駅から当団地まで6kmの道のりを家族連れやシニアの人々がゴールし、次々にアウトレットセールの買物を楽しんでいました。

心配されたトイレ不足の対応も区役所の行き届いた告知案内で混乱もなく推移しました。

アウトレットセールは当日3800人の来場客でにぎわいました。林金沢区長も当日は現場での陣頭指揮を執り、「これだけの人が健康に関心をもって参加したことの意味は大きい。」と満足げでした。また、当日はMDCアウトレットセールについて横浜市広報課からラジオ日本を通じて取材があり、鈴木理事長が「卸街のお祭りとして買物を楽しんで頂きたい」と応じていました。

社長会主催
第2回勤労感謝祭
大いに盛り上がる

11月19日、昨年に引き続き第2回勤労感謝祭が横浜テクノタワーホテルで開催されました。今年も113名を数える多くの従業員・管理者が集まり、立食パー



中森あきないさんのステージ

組 合 日 誌

- 10月
- 2 英会話教室
 - ♪ 関東・東北卸団地協議会交流会 (山形流通団地) (~10/3)
 - 6 団地内植栽剪定作業(~11月中)
 - 8 三役三委員長会議
 - ♪ 定例理事会
 - 9 ビジョン委員会、江釣子SCおよび 仙台卸商センター視察
 - ♪ 英会話教室
 - ♪ 県火災共済代理所会議
 - 15 社長会外部研修会(朝日プリンテック、33クラブ)
 - 16 英会話教室
 - 17 上田卸商業(協)創立50周年記念式典・祝賀会
 - 20 金沢区福祉健康課と打合せ
 - 22 県商業従事者海外派遣団結団式
 - 23 英会話教室
 - 25 MDCアウトレットセール
 - 27 MDCアウトレット部会
 - 28 横浜MDC会(磯子C.C)
 - 29 卸団地厚生年金基金監査会
 - 30 ビジョン策定委員会
 - ♪ 県中央会 事務局長協会総会



- 11月
- 6 英会話教室
 - 11 商団連トップセミナー
 - 12 三役三委員長会議
 - ♪ 定例理事会
 - ♪ BCM推進特別委員会
 - 13 関東甲信越卸団地協議会幹事会(山梨県流通センター)
 - ♪ 英会話教室
 - 17 金沢区福祉保健課と打合せ
 - ♪ 英会話スクールと打合せ
 - ♪ MDC青年部会
 - 18 卸団地厚生年金基金監査会
 - 19 統一清掃日
 - ♪ インフルエンザ予防接種
 - ♪ 横浜シーサイドフォーラム・オープン例会
 - ♪ 社長会主催勤労感謝祭
 - 20 ビジョン委員会、高崎卸商社街視察
 - ♪ 英会話教室
 - 21 新入社員フォローアップ研修
 - ♪ 中小企業大学校と打合せ
 - 22 MDCアウトレットセール、金沢区健康ウォーキング開催 ラジオ日本取材(組合および出店企業)
 - ♪ 商工中金支店長と打合せ
 - 25 MDCアウトレット部会
 - ♪ スリーエフと打合せ
 - 26 団地活性化委員会
 - 27 英会話教室
 - ♪ 県中央会補助金検査打合せ
 - 28 幸浦二丁目自消隊・防災特別講演会

お知らせ

社名変更のお知らせ

組合員ユニマツトキャラバン(株)は、ユニマツトグループ内の再編に伴う合併により平成26年11月1日付けで社名変更を行いました。新社名は、「株式会社ユニマツトプレシヤス」(代表取締役 高橋洋二氏)となります。

アウトレットセール

1月のMDCアウトレットセールは、1月24日(土) 午前10時開店です。

合同入社式・研修会

合同入社式 4月1日(水)
 午前10:00~10:30
 合同研修会 4月1日(水)
 午前10:30~17:00
 合同研修会 4月2日(木)
 午前9:00~17:00

編集後記

■現代の若者の悪しき行動パターンに、電車内での床座り、化粧、抱擁等が言われますが、これは人目を憚らない意識の表れとされています。この意識は幼児性を意味し、脳の未発達の原因で、心理学ではネオテニー(幼形成熟)と呼ばれています。人は成人までの期間が極めて長く、その間適正な教育学習がなされなければ前頭葉が未成熟で、特に他者との接触(遊びも含む)が少なく、人との交遊が苦手で、喧嘩や凶暴性等、自己抑制力が未発達のまま成人します。

■米国の心理学者ケリー・マクゴニカルは下垂体から分泌される愛情ホルモンと呼ばれるオキシトシンについて「この物質は実はストレスホルモンでもあって、心に負荷を受けても分泌されるが、他者とのふれあいによって心臓にある受容体に作用し、身体に良い影響をもたらす」と述べています。つまりストレスは必ずしも体に悪い訳でなく、社会的行動を促し、他者を愛おしむ気持ちを持つなら心と体に良いと言っています。ネオテニーもストレスも、他者とのふれ合いに意味を見出し、人を思いやる心を持つ事が、良い結果をもたらすと最新の心理学は教えています。

(総務副委員長 齋藤良雄)